

平成23年度 事務事業評価シート（平成22年度実績分）

事務事業名	公共下水道ポンプ場長寿命化整備事業費		部課コード	1610	予算事業科目	110102010292	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	都市建設部	部長名(2次評価者)	海治 甲太郎		個別事務	全部	110102010292	-		
	担当部署	下水道保全課	所属長名(1次評価者)	今西 紀久					-		
	電話番号	088-823-9472	E-mail	kc-161000@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成23年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け									
会計	11 下水道事業特別会計	大綱	01 共生の環	政策基本方針	人の健康や生態系に深刻な影響を及ぼす大気汚染や水質汚濁などの環境汚染を防止するために、公害対策や生活排水対策を推進します。					
款	01 下水道費	政策	03 環境汚染の防止							
項	02 下水道施設費	施策	02 生活排水対策の推進							
目	01 公共下水道維持費	区分	04 その他の下水道事業							

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	下水道法第3条、下水道維持管理指針、下水道長寿命化支援制度実施要綱	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	公共下水道ポンプ場4機場(藪野・海老ノ丸・五台山・秦ポンプ場)		
意図	どのような状態にしていくのか	多量に保有し老朽化しているポンプ場施設の機能を維持しながら、長寿命化支援制度を導入し、限られた財源の中でライフサイクルコストを最小化させ、公共下水道ポンプ施設の延命化を図り、ポンプ施設を適切に管理していくことで、快適な生活環境を確保し、また降雨時に市民の命と財産を守る。		
手段	事業実施体制等	複数あるポンプ場の中から抽出した公共下水道ポンプ場4機場について、長寿命化計画に基づき長寿命化対策を含めたポンプ施設の整備工事を行う。	事業開始年度	平成21年度
			事業終了年度	平成25年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ●長寿命化計画に沿った各ポンプ場施設の長寿命化工事の実施。 ●ポンプ・エンジンの長寿命化部品の取替。 ●ポンプ・エンジンの消耗部品等の取替。 ●ポンプ・エンジンの各部の点検・整備。 ●ポンプ・エンジン補機類の消耗部品取替・各部点検・整備。 		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	排水運転時の故障ゼロ	長寿命化整備事業対象のポンプ設備において、排水運転時に故障発生が無く運転したポンプ台数	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(計画)	備考欄
成果指標	A	目標		7台	13台	16台	※整備対象ポンプ設備台数 H21年度7台。H22年度8台 (述べ13台)。H23年度7台 (述べ16台)
		実績		7台(100%)	13台(100%)		
	B	目標					
		実績					
C	目標						
	実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)		153,000	161,702	160,000	
		財源内訳	国費 (千円)		76,500	80,851	80,000
			県費 (千円)				
			市債 (千円)			80,800	80,000
			その他 (千円)				
			一般財源 (千円)	0	76,500	51	0
	翌年度への繰越額 (千円)						
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	0	22,200	43,200	36,000	
		正規職員 (千円)	0	22,200	43,200	36,000	
		その他 (千円)					
		人役数 (人)		3.00	6.00	5.00	
		正規職員 (人)		3.00	6.00	5.00	
		その他 (人)					
総コスト= ① + ② (千円)		0	175,200	204,902	196,000		
市民1人当たりコスト (円)		0	516	604		総コスト/年度末人口	
年度末住民基本台帳人数 (人)		340,695	339,714	339,130			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

本事業では公共下水道ポンプ場21機場（ポンプ設備126台）のうち、4機場（ポンプ設備20台）を抽出し長寿命化工事を行うことにより、既存ポンプ場施設を活用しながら、施設整備費を含めたライフサイクルコストの軽減化ができた。今後は、老朽化が進み維持管理費の増大化が避けられない状況となっている残りのポンプ場施設についても、長寿命化支援制度を活用し、整備費の軽減化を図っていく予定である。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 23 年 9 月 9 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業は「安全なまちづくり」の重要な部分を担う事業であり、市民ニーズも増大している。
	② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	5.0	事業の目標は「排水運転時の故障ゼロ」であり、十分達成している。
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	ポンプ場の運転管理、日常点検を民間に委託しており実施済みである。耕地課、河川水路課などの雨水排水施設の管理も一元的に行っており、概ね効率的にできている。
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	市民の生命・財産を守るための事業であり、極めて公平性が高い。
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	20.0	総合評価	○ A 事業継続（総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合） B 経費削減に努め事業継続（総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合） C 事業縮小・再構築の検討（総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合） D 事業廃止・凍結の検討（総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 23 年 9 月 16 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	1次評価のとおりに
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--